

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋

◆女性管理職比率の公表、26年4月から 101人以上の企業

・厚生労働省は女性の管理職比率と男女の賃金差異の公表義務付けについて、2026年4月から実施する方針。非上場も含めて従業員数101人以上の企業が対象となる。24日召集の通常国会への提出を目指す女性活躍推進法改正案に盛り込む。女性の積極的な登用を促す。これまで女性の管理職比率の公表は義務ではない。

◆賃上げ定着が責務、価格転嫁に消費者理解を 経団連指針

・経団連は春季労使交渉(春闘)への経営側の基本指針となる2025年版の「経営労働政策特別委員会報告」を公表。賃上げの勢いを社会全体に定着させるのが「経団連・企業の社会的責務」だと記した。賃上げの原資を確保する価格転嫁には消費者の理解が欠かせないと訴えた。

◆3月から高温傾向「春の訪れ早い」 気象庁、雪崩に注意

・気象庁は2～4月の3カ月予報を発表。3月以降を中心に日本列島は寒気の影響を受けにくくなり、北日本や東日本の気温は平年より高くなる見込み。「雪の多い地域は雪崩に注意してほしい」と呼びかけ。北太平洋上にあるアリューシャン低気圧の勢力が平年より弱いこともあり、寒気の影響を受けにくい。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋

◆ハウスメーカー12月受注速報 住友林業、8カ月連続の2ケタ増

・ハウスメーカー各社が発表した昨年12月の戸建て注文住宅の受注速報値(対前年同月比、旭化成ホームズは集合も含む)は、12社中6社が増加。住友林業、ヤマダホームズ、ヒノキヤグループは2ケタ増。特に住友林業は8カ月連続で2ケタ増と好調を維持。ヒノキヤグループは前月の減少から12月は38%増と大幅な増加に転じた。

◆ダイキン、ブラジル富裕層開拓 省エネ基準改正で

・ダイキン工業がブラジル市場で富裕層の開拓を進める。今春には、インドの開発部隊が手掛けた専用モデルを投入。最大都市サンパウロでは高所得層でもエアコンの整備が進んでいない家庭もあり、さらなる販売増が期待できる。3年後めどに家庭用空調で1割強のシェア獲得を目指す。

◆中小との価格交渉に後ろ向き、タマホームなどに最低評価

・経済産業省は取引先の中小企業との価格交渉や価格転嫁に後ろ向きな企業を公表。価格の交渉状況ではタマホームと一建設、鍵大手の美和ロックの3社が4段階評価で最低だった。タマホームは前回調査に続き2度目。経産省は2024年9～11月、中小企業5万1282社を対象に調査を実施し、4段階で評価した。

《 注目商品 》

■エクセルシャノン、樹脂製防火窓「シャノンウインド NS50 トリプル防火」

・防火・準防火地域に対応した20分遮炎性能と国内最高クラスの断熱性能を両立した三層Low-E 複層ガラス樹脂製防火窓。「外開き窓」「バルコニー窓」「勝手口ドア」を新たに追加。防火・準防火地域の断熱等性能等級5,6,7の家づくりに、高性能樹脂サッシを選択可能。



■大建工業、「乾太くん」専用台「かわいたな」

・リンナイ製の家庭用ガス衣類乾燥機「乾太くん」専用の木製収納ユニット。狭小住宅やリフォームでも「乾太くん」を洗濯機上の空間に設置できるように、配線・蛇口用の切り欠きを設けた。壁面に隙間なく設置してスペースを有効利用できる。



■リンナイ、ビルトインガスコンロ「GRILLER(グリレ)」モデルチェンジ

・重厚感のある鋳物五徳とガスならではの強火力が特長のビルトインガスコンロ。新形状の鋳物五徳や点火つまみを刷新し、デザインを上質化。国内家庭用コンロとしては最大の火力を実現し、バーナー形状を変更することで点火時の安全性と調理時の熱分布が向上。

